



ORBIC North America LLC の社会的責任

コーポレートガバナンス・内部統制

Orbic のコーポレートガバナンス

Orbic は、企業としての透明性の維持、説明責任を果たすこと、およびコーポレート・ガバナンスの推進に取り組んでいます。これらは中長期的な企業価値の向上と持続のため、また株主、顧客、社員、調達先、ビジネスパートナー、その他、あらゆる Orbic の利害関係者の関心に配慮した経営のために重要なものであると考えています。

Orbic のガバナンスの体制と取り組みは、当社の経営の支えであり、戦略を実行するのに重要な役割を果たしています。

これらは当社の戦略とビジネス目標の設定、業績評価指標の監視、および危機管理のための枠組みとなっています。

また、これらは当社の経営上の意思決定と説明責任を果たす上での判断基準となり、行動規範の指標となります。

環境責任

母なる地球の保護とその環境を保全することを計画している Orbic にとって、環境責任は事業の柱の一つです。当社は世界各地での事業を展開する上で、環境への影響を最小限にするべく運用改善の取り組んでいます。当社のサステナビリティに関する取り組みは当社の製品やサービスに関わる重要な判断基準であり、以下のその時点における最良の方法を可能な限り適用しています。

- 当社製品のライフサイクル(製品寿命、サービス期間)において、製品や素材のリサイクルを行います。また、部材調達先や取引先、顧客に対してもリサイクルを呼びかけ、促進します。
- CO₂削減を実行するため、可能な限り、海上輸送を航空輸送に優先させます。受注生産や再生材料の選択・調達により廃棄物を削減します。環境負荷低減活動や自然資源を補う活動を支援することで、当社の及ぼす環境への影響を中和します。
- CO₂排出量や環境への影響がより少ない物流手段を優先的に選択します。
- 製品設計と生産工程を以上の指針に沿う形で構築します。



倫理的責任

Orbicは倫理的責任が重要なものであると考えています。公正で倫理的な行動の持続に取り組んでいます。これを実現するための取り組みについては、以下に記載のとおりです。

- ジェンダー、国際性を含む多様性を尊重し、新たな価値創造に努め、様々な個性や意見、見解、価値観が共存する組織の実現をめざします。現在当社では、男性と女性の従業員比率がほぼ均等です。管理層を含む当社全体においてバランスが取れています。
- 各従業員の経歴を理解尊重し、意見を聞き入れ、より多くの事業への参画を促します。
- 不公平さを見逃さず、企業構造、システム、ビジネスプロセスにおいて、適性なアクセシビリティ設計を行い、公正さを確保します。
- 社員の個の自主性を尊重し、貢献を評価します。一人ひとりの力を最大限引き出すため、排他的でない、安心して働ける社内文化を構築しています。
- 当社の文化、取り組み、プログラム、ポリシーに多様性を反映します。
- 社員の働き方に柔軟性のある選択肢を提供します。
- すべての従業員を好意的に待遇し、各国の労働基準法を上回る賃金と福祉を提供します。
- 取引先においても人種、性別、年齢、経済状態によらず、人材雇用を行っていることを確認します。

慈善活動に関する責任

Orbicは、積極的に社会に貢献します。当社の経営戦略に沿って、当社が共感できる世界をより良くしようとする慈善団体や活動に投資し、寄付を行っています。これには以下のものが含まれます。

- 共感できる慈善団体や目的に対し、当社利益を寄付する。
- 社員が慈善活動に貢献するための休日付与、給与補償を行う。



- 慈善団体や、活動のための資金調達イベントを支援し、コミュニティにおいて存在感を持つ。

2023年、Orbicの設立者であるNarula（ナルーラ）家は、シカゴ大学への寄付をいたしました。シカゴ大学は量子科学分野での開発における最先端です。彼らの目標は、従来のコンピューターに比べ格段に演算力の増した100,000キュビットの量子スーパーコンピュータを構築することです。量子科学の分野で、新しい発見・開発をする人材を育てるためには、投資を続ける必要があります。シカゴ大学は、Quantum Quickstart（クワンタム・クイックスタート）という高校生向け対面短期プログラムを設立しました。Quantum Quickstart 夏季プログラムは、地元の才能がある若者たちが、シカゴ大学で量子エンジニアリングを学べる道を開くことを目指しています。



写真：2023年クラウド・ゲートにて。Quantum Quickstart 参加者とプログラムディレクターFaithe Beadle氏。